



切山城



国史跡に指定され案内看板が建っている

所在地：石川県金沢市桐山町
 立地：丘陵頂部、標高142m
 城主：不破直光（前田利家家臣）
 時期：戦国
 見学時間（参考）：約30分

小原越が通る交通の要衝に位置し、小原道が城域の南に接するように占地している。
 主郭はほぼ全周に土塁が巡り、南に小原越を監視するために櫓台が築かれている。加賀方面の西側には二重に樹形虎口が築かれ、越中方面の東側には小原越を横断するように塹堀を設けている。



登城口（東から）

古記録は故墟考に「不破彦三居たりと言ふ」とあるのみである。天正12年（1584）、越中の佐々成政が小原越を押さえるために松根城を大改修すると、それに対抗するために加賀の前田利家が切山城を改修し、家臣の不破彦三を置いた。不破氏は代々彦三を名乗っており、初代光治は天正8年に没しているので2代直光と考えられる。天正13年8月に佐々成政が豊臣秀吉に降伏すると、加越国境の軍事的緊張が解消して廃城になったと考えられる。



鉄砲玉が見つかった主郭南側の櫓台

平成23年（2011）の発掘調査により、門跡やタイのソントー鉱山産の鉛で作られた鉄砲玉等が発見されている。
 平成27年（2015）、松根城とともに「国史跡 加越国境城跡群及び道」に指定されている。



登城口側の主郭樹形虎口



馬出曲輪側の主郭虎口



土塁が巡る主郭

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
 北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
 〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
 TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
 E-MAIL. contact@j-sampo.com
 ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>